



Japan International
Cooperation Agency

JICA チェア

JICA 日本研究講座設立支援事業



日本の豊富な開発経験

日本は、非西洋から近代化を成し遂げた最初の国です。自国の伝統とアイデンティティを損なうことなく、法に立脚し自由で民主的、平和で繁栄した国家建設を実現した国であり、開発途上国に対して発展のベストモデルの一つを提供しえる国です。

日本は1945年の敗戦後、非常に短期間で復興しました。また、近年目覚ましい経済社会発展を遂げているアジア諸国への政府開発援助を通じて、日本は多くの開発協力経験を有しています。



岩倉使節団のメンバー (1872)

これら自国の近代化と海外での開発協力の過程で蓄積した経験と教訓を活かし、日本は世界の開発学をリードし、世界の持続的な発展に積極的に貢献し得るものと考えています。

開発リーダーの育成

- JICAは、開発途上国の各分野で成長と発展を支えるリーダーとなる人材を育成すべく、日本のさまざまな大学と連携し、2018年「JICA開発大学院連携プログラム」を立ち上げました。
- このプログラムにおいては、開発途上国の将来のリーダーとなる方たちに、専門分野の教育・研究に加え、日本の開発経験をその歴史や文化的背景を踏まえて学ぶ「日本研究」の機会を提供しています。
- このプログラムの一環で、JICAは日本の開発経験を学ぶ機会を国外にも広げるため、開発途上国各国のトップクラスの大学等を対象に、「日本研究」の講座設立支援を行うプログラム「JICAチェア」を開始しました。



相手国の実施体制やニーズ、日本側のリソース等を踏まえながら、適切なメニューを選択あるいは組み合わせた事業を実施しています。

「短期集中講義」事業

以下のような協力を通じ、日本の開発経験の研究に関する短期集中講義を実施しています。

- 講師(数名)の短期派遣
- ビデオ教材の提供(「日本の近代化を知る」等)
- 教育・研究に必要な関連図書を提供(政治、経済、経営、社会・文化、文学、歴史等)

「日本研究講座設置」事業

途上国のトップレベルの大学などにおける日本研究講座の新設や既存の教育・研究体制を支援するため、左記の「短期集中講義」事業に加えて共同研究の実施や研究者・教育者の受入れ(学位取得やサバティカル)など、研究リソースの強化を行います。また、日本事情紹介やJICA海外協力隊とも連携した日本理解の促進を後押しします。

日本の近代化を知る

JICAは放送大学と連携協力し、シリーズ番組「日本の近代化を知る」を共同制作しました。このシリーズ番組は、幕末から明治以降の近代化、戦後の歩みをカバーするもので、日本の歩みを体系的に紹介しています。

講義名	講師(敬称略)
1 明治維新:日本近代化の原点	国際協力機構 理事長 北岡 伸一
2 政党政治の盛衰	東京大学 教授 五百旗頭 薫
3 戦後日本の政治外交	政策研究大学院大学 学長 田中 明彦
4 経済成長と日本的経営	国際大学 学長 伊丹 敬之
5 日本の近代化と教育	国際協力機構 理事 萱島 信子
6 「アジアと日本」から「アジアの中の日本」へ	熊本県立大学 理事長 白石 隆
7 日本の国際協力	国際大学 教授 加藤 宏
8 社会の変容と日本の知識人	立教大学 教授 松田 宏一郎

講義名	講師(敬称略)
9 近代日本と戦争 その1, その2	国際協力機構 理事長 北岡 伸一
10 日本と国際法	上智大学 教授 兼原 敦子
11 日本の行政制度の発展	東京大学 教授 牧原 出
12 産業の発展と産業政策	東京大学 教授 岡崎 哲二
13 財政と金融の発展	国際通貨研究所 理事 渡辺 博史
14 科学技術立国としての歩み	総合研究大学院大学学長 長谷川 真理子
15 日本の保健医療	名古屋大学 名誉教授 青山 温子

肩書はいずれも制作当時のもの



海外における JICAチェアの事例



ボリビア

ボリビアでは、JICAチェアのプログラムは大学や大学院のディプロマコースとして提供されています。JICAチェアプログラムを継続して実施しているボリビア最大の国立大学であるガブリエル・レネ・モレノ自治大学(UAGRM)では、経済学部ビジネススクールに日本式経営学のディプロマコースを設置したほか、大学院の学生を対象としたディプロマコースを新設しました。豊富な経験と幅広い知識を持つ日本の各界の協力を得て、ボリビアの将来を担う若者たちに日本の開発経験を伝えています。



舟橋 學 博士(国際大学 准教授)による
ガブリエル・レネ・モレノ自治大学
(UAGRM)での講義

モンゴル

日本と密接な関係にあるモンゴルでは、JICAチェアを通じてネットワークのさらなる強化に取り組んでいます。モンゴルの最高学府であるモンゴル国立大学は、日本語・日本学の大学院を設置し、日本やJICAと密接な関係を築いています。2022年の日本・モンゴル外交関係樹立50周年には、JICAチェアコースが開講され、徐々に認知度が高まり、2023年には単位化されました。このプログラムでは、モンゴルと日本の架け橋となる人材を育成しています。



田中 明彦(国際協力機構 理事長)
モンゴル国立大学でのJICAチェア特別講義



参加者の声

“ JICAチェアプログラムを通じて、日本の近代化の成功には、インフラ整備と人材育成が重要であったことを、学生だけでなく私自身も学ぶことができました。また、海外の制度をそのまま取り入れるのではなく、自国に合わせて調整・適応させることの大切さも、日本の過去の歴史から学ぶことができました。



ラッセル ヤンジン

パプアニューギニア



パプアニューギニア
大学 職員

“ ダル・エス・サラーム大学で開催されたJICAチェアプログラムでは、国の発展のためには他国との協力が重要であることを学びました。その大切さを他の若い人たちにも伝えていきたいと思っています。



ケビンマロ

タンザニア



ダル・エスサラーム
大学
学生

https://www.jica.go.jp/Resource/english/news/field/2022/20230323_11.html



“ JICAチェアの講義を受けたことで日本とインドネシアの関係についての知識や理解を広げ、深めるためにアクションを起こそうと考えるようになりました。この経験がインドネシアと日本、また、両国民間の理解を向上させるための私の活動の支えになってくれると思います。



タリア フランセス
カブラセチョ

インドネシア



インドネシア大学
学生

<https://www.jica.go.jp/Resource/dsp-chair/english/chair/story/20231024.html>



JICAチェアについて



JICAチェア

<https://www.youtube.com/watch?v=nbm-J8x6pDw>



日本の近代化を知る

<https://www.jica.go.jp/dsp-chair/english/chair/modernization/index.html>



海外拠点

<https://www.jica.go.jp/english/about/basic/structure/overseas/index.html>



JICA開発大学院連携



成長を支えるリーダーとなる人材のための 日本の開発体験の共有

<https://youtu.be/cjhwFSuo4x8?si=MC4u11dwQLMfTVm0>



ホームページ / SNS



JICA開発大学院連携とJICAチェアについて もっと知る

ホームページ：
<https://www.jica.go.jp/english/activities/schemes/dsp-chair/index.html>



Facebook Page：
<https://www.facebook.com/jicadsp.chair>





JICA開発大学院連携推進室

〒 100 - 0004

東京都千代田区大手町1-4-1 竹橋合同ビル

Tel: 03-5226-6900

E-mail: tagua@jica.go.jp

ウェブサイト: www.jica.go.jp/dsp-chair/english/chair/overview/index.html

December 2023